



## 神庭通信 2017

(かにわ つうしん)



平成29年度 校長室だより

第5号 H29. 8. 21

夏休み特大号

今年の夏は雨の日が多く、なかなか太陽を見ることができない日が続きました。

夏季休業中には、PTA夏祭りや夏余暇、プールなどがありました。また高等部ではテニールボール、ソフトバレーボール、陸上の各大会に参加したり、毎年パシフィコ横浜で開催されている「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド（ヨッテク）」にチェアメンテナンス班が参加して、多くの来場者に実演を披露しました。

学校では、校舎内外の環境整備も行いました。足場を組んで工事をしていたのは、昇降口付近の屋上防水工事です。また教職員による校内の壁のペンキ塗りにより、1階中学部前の廊下がきれいになりました。ほかにも肢体部門の授業等で使っている箱車もやすり掛けをしてペンキを塗ってきれいになりました。校内の掲示物の整理なども少しずつすすめ、児童生徒の皆さんが注目しやすい環境づくりに取り組んでいます。

## パラスポーツ特集

さて、2020年オリンピックパラリンピックまであと3年。中原養護学校では今年度もスポーツの推進に取り組んでいます。今回はパラスポーツの話題から、ボッチャで活躍する卒業生のこと、そして昨年度末のパラスポーツ教室のことをご紹介します。

### ボッチャで活躍する卒業生



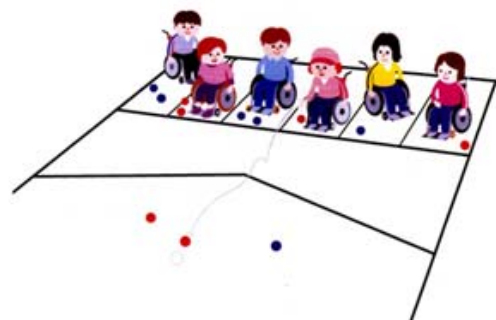
昨年開催されたリオデジャネイロのパラリンピックでは、ボッチャ日本代表チームが大活躍して銀メダルをとりましたが、実は中原の卒業生の中にもボッチャで活躍している方々がいます。

その一人、和田和樹さんは4月にラポールで行われた神奈川大会で勝ちすすみ、6月の千葉での日本選手権大会東日本ブロック予選会に出場しました。善戦したものの惜しくも予選落ちで、本戦には出られませんでしたが、最善を尽くしやりきったようで、また次の大会に向けて意欲を燃やしています。これからも応援しています。

もう一人の卒業生、加藤稚菜さんは同じく日本選手権大会東日本ブロック予選会に勝ち進み、24人中4位に入ったため、11月に大阪で行われる日本選手権に出場が決まりました。そこで4位以内に入れば、次は海外の大会への出場が決まるということです。ぜひ、がんばってほしいですね。

また最初にご紹介した和田さんはボッチャの普及活動にも積極的で、8月20日にラゾーナ川崎で開催された「川崎パラフェスタ」でも普及活動をしたそうです。

そんな素晴らしい先輩たちの活躍を見なが



ら、現役児童生徒も昨年に続き7月の上菅田特別支援学校ボッチャ大会に出場しました。「はにっぴーA」「はにっぴーB」の2チームが参加して、うち1チームは決勝戦まで勝ち残り、見事銀メダルに輝きました。8月9日付神奈川新聞に大会試合結果が掲載されています。

その他にもボッチャの普及啓発の一環として、10月8日（日）に慶応義塾大学日吉キャンパスを会場に開催される「バリアフリーフェスタかながわ2017」（神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催）に中原養護学校が参加することになっています。

## 車椅子バスケット教室

昨年度末の3月27日、車椅子バスケットボールの選手の方を講師に迎え、中原養護学校の体育館でパラスポーツ教室を開催しました。

テレビで見る車椅子バスケットは激しいイメージの競技でしたので、参加できる人は限られるのではないかと内心思っていました。実際に始めてみると、ルールを工夫することで誰もが参加可能で、誰もがゲームを楽しめる



ことを実感しました。参加した中原養護学校の児童生徒、保護者、教員、地域の小学生、地域の方々など、すべての人が一緒になって楽しい時間を共有することができたことは、大きな発見でしたし、嬉しいことでした。

また、ゲームを見ている周りの人たちの声援も熱く、選手たちにあたたかい拍手が送られていて、スポーツは明るさや元気を引き出し、人と人の距離を縮めることをあらためて感じました。会場の一体感やあたたかい雰囲気は経験してみないとわからない楽しさがあるように思います。講師の方々の明るく元気な姿にふれたことで、勇気をもらった人も多かったのではないかと思います。

これまで「難しい」と思っていた先入観や思い込みをひとまず横に置き、様々な経験にチャレンジしてパラスポーツの間口をもっと広げ、児童生徒自身が自分の好きなスポーツを選んだり、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしたりできるようになるといいな、と思います。そして楽しい時間を共有することで、友達や仲間を広げていってほしいと願っています。

